

令和3年度第1回高槻市スポーツ推進審議会（書面開催）意見一覧

案件1 会長、副会長の選出について

意見なし

案件2 高槻市スポーツ推進計画後期実施計画の進捗状況について

意見あり

該当箇所	意見内容	事務局回答
—	昨年度は新型コロナウイルス感染拡大が始まり、初めての対応に追われ、向き合い方がわからなかったし、怖い思いの一年でした。でもステイホームといわれる中で、心と身体の健康を保つのに、スポーツ（歩いたり、走ったり、いろいろと個々違うが）は欠かせないと感じました。密接はNG、間隔を空けて、マスク装着等々守るべきことが多々あるので、各々が歩いたり走ったり何か体を動かす事のできる環境が屋内外に充実していたらと改めて実感しました。	人々の精神的充足や健康寿命の延伸等、スポーツの果たす役割は大きいと考えております。引き続きスポーツの機会の充実やスポーツ環境の整備に取り組んでまいります。
子どもの体力の平均値が全国的に全国平均を下回っている。 (P6)	オリンピック、パラリンピックが日本で開催された今、子どもたちをスポーツの世界に誘い出す絶好のチャンス。一日でも早くこのコロナ禍からぬけ出し、金メダルを取った野球やソフトボールやパラリンピックで話題となったポッチャなどのイベントにクラブとして取り組みたい。	今後も各団体が主体的に実施する事業を支援してまいります。

案件3 第2期高槻市スポーツ推進計画前期実施計画の策定について

意見あり

該当箇所	意見内容	事務局回答
① 子どものスポーツ活動の推進 (P.4 No.1~4)	「小中学校の市スポーツ施設の利用促進」について、小・中学校が市のスポーツ施設を利用して大会（中体連総体）等を実施しています。その部分が抜けていますので追記をお願いします。 【高槻市スポーツ推進計画後期実施計画P.10 No.20】	ご意見の内容について追記します。
中学校の部活動の充実 (P.4 No.3)	市内中学校へ指導者を派遣する際は、スポーツ指導者の資格を持った人を派遣して欲しいです。また、（学校教員に限らず）小中学生の指導者全般に対して指導者講習の機会を増やし、資格取得を促して欲しいです。	スポーツ指導者を派遣することにより部活動の活性化や競技力の向上につながられるよう、ご意見の内容については関係部署と連携し、検討してまいります。
大学との連携 (P.4 No.4)	アイススケートだけにとどまらず多様目で。	市主催スポーツイベントにおいて、市内大学と連携して事業に取り組んでいます。この内容について記載がなかったため実施計画の内容に追記します。
子供向け教室の推進 競技団体の教室 (P.4 No.1,2)	体験教室や普通の教室の様子を動画配信するなどして、スポーツへの興味を促してみては。	スポーツへの興味を促す取り組みについて、指定管理者や各団体と検討してまいります。

該当箇所	意見内容	事務局回答
障がい者向け教室 (P.5 No.21)	障がいの度合や安全面、本人の意向はもちろん配慮が必要だが、障がいの有無に関係なく、社会に共生していくにはスポーツの場面でも、障がい者、健常者がまざり合って楽しむことが必要。	本市イベントにおいて、障がい者と地域の方々が一緒にスポーツを楽しむ機会を提供しています。教室においても、指定管理者と調整しながら、ご意見の内容を含めて検討してまいります。
都市交流を推進 (P.5 No.24)	姉妹都市交流として島根県の益田市に一度、福井県の若狭町に十数回合宿に行きました。若狭町の少年野球大会にも毎年参加しています。市のスポーツ事業として恒例化させるのはどうでしょう？	姉妹都市交流については、さまざまな形で実施されております。それぞれの主体的な取り組みを支援してまいります。
ウォーキング道の整備 公園への健康遊具の設置 ウォーキング道の活用 (P.6 No.32,33,34)	歩くのが楽しく、楽しみになるような、整備された、夜道も安全安心なウォーキング道をどんどん作って欲しいです。健康遊具については広場とセットの公園が増えて、いろいろなスポーツが楽しめたらと思います。	関係部署と連携し、既存の施設整備等を検討・実施してまいります。
指定管理手法の検討 (P.6 No.36)	「市民ニーズに対応した施設運営」が目標とのことですが、その際、民間業者がフットサルで行っているように、一人で来た人が飛び入り参加できる工夫を多様目で展開してくれる管理者を選んで欲しいです。	市民が様々な形でスポーツをする機会を増やし、スポーツ実施率の向上につなげられるよう、ご意見の内容も含めて次期指定管理者と検討し、今後の事業展開に活かしてまいります。
救命・安全講習会の実施 熱中症対策の実施 (P.6 No.41,43)	学校開放では毎年、救命救急講習会は実施してきました。スポーツをしていたら、応急手当や傷害予防普及啓発は大切なことです。学校開放の使用団体に広く呼び掛けていけるように連携していきたいです。また、体罰問題の研修会にも参加を呼び掛けたいです。 年々、夏の暑さは増してきています。啓発活動と共に、熱中症対策、安全にスポーツできる環境整備が大事です。学校開放は学校の体育館、グラウンドを使用させていただいておりますから、開放としての対策はとってはいますが、学校体育施設の対策がより進めばと思います	熱中症対策としての施設整備は、今後の検討課題と捉えています。